2022年度　決算説明資料

決算概要および2023年度通期見通し

2023年5月30日
シンフォニアテクノロジー株式会社
（証券コード6507）

発表のポイント

●22年度業績について

✓半導体関連が年度後半から調整局面入りするも、通年では好調に推移。

✓過去最高の受注高、売上高及び経常利益を更新。

●23年度業績予想について

✓半導体関連の鈍化影響大きく、22年度に対し減収減益。

✓24年度以降の半導体市場の回復に備え、生産体制構築、製品開発を推進。

●長期目標及び中期計画の進捗

✓安定した成長と社会のサステナブルな発展への貢献に向けた製品ポートフォリオ変革。

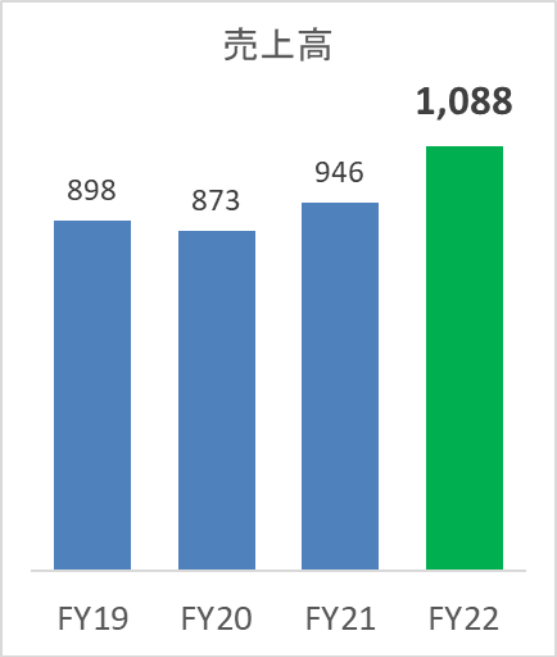
✓半導体関連分野を成長ドライバーとし、自動化、脱炭素、電動化の領域拡大、物流・医療の新分野開拓に取り組み。

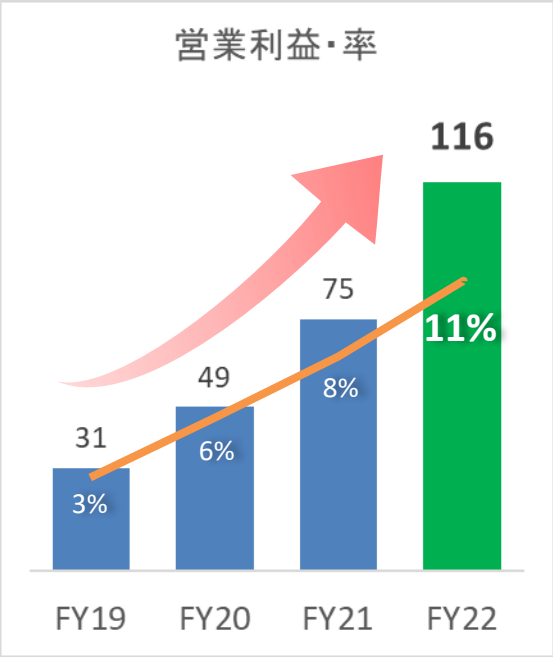
響いてこそ技術 SINFONIA

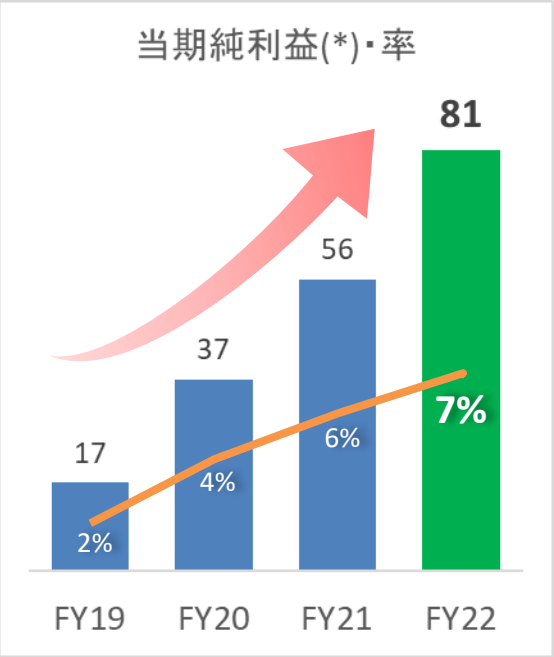
2022年度決算概要

2022年度連結決算ハイライト

（単位：億円）







(※)親会社株主に帰属する当期純利益

◆売上高は、96年度以来26年ぶりの1000億円越え達成
◆損益面は、3期連続で増益実現
◆過去最高の売上高、利益を達成

響いてこそ技術 SINFONIA

2022年度連結決算

（単位：億円）

	21年度実績	22年度実績	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	1,104.7	1,251.0	146.3	13.2%
売上高	945.9	1,088.1	142.2	15.0%
営業利益	75.1	116.2	41.1	54.7%
経常利益	79.0	120.0	41.0	51.9%
当期利益(※)	55.9	81.0	25.1	44.9%
研究開発費	28.9	38.9	10.0	34.6%
設備投資	20.9	51.7	30.8	147.4%

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

◆半導体製造装置を中心とした生産設備への投資が回復し、
受注高、売上高とも増加、過去最高を更新。
◆損益面は、売上の増加や為替影響により増益、過去最高を更新。

響いてこそ技術 SINFONIA

セグメント別業績総括

（単位：億円）

		21年度実績	22年度実績	対前年比	
				増減額	増減率
モーション機器	受注高	371.9	423.0	51.1	13.7%
	売上高	320.9	386.8	65.9	20.5%
	営業利益	13.8	25.0	11.2	81.2%
パワーエレクトロニクス機器	受注高	247.3	330.9	83.6	33.8%
	売上高	210.3	209.8	▲0.5	▲0.2%
	営業利益	▲0.3	14.0	14.3	–
クリーン搬送システム	受注高	298.6	285.8	▲12.8	▲4.3%
	売上高	235.6	299.2	63.6	27.0%
	営業利益	45.2	63.5	18.3	40.5%
エンジニアリング＆サービス	受注高	186.9	211.3	24.4	13.1%
	売上高	179.0	192.2	13.2	7.4%
	営業利益	17.5	13.9	▲3.6	▲20.6%
計	受注高	1,104.7	1,251.0	146.3	13.2%
	売上高	945.9	1,088.1	142.2	15.0%
	営業利益	75.1	116.2	41.1	54.7%

響いてこそ技術 SINFONIA

2023年度通期見通し

2023年度連結通期見通し

（単位：億円）

	22年度 実績	23年度 予想	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	1,251.0	1,050	▲201.0	▲16.1%
売上高	1,088.1	1,000	▲88.1	▲8.1%
営業利益	116.2	80	▲36.2	▲31.2%
経常利益	120.0	80	▲40.0	▲33.3%
当期利益(※)	81.0	56	▲25.0	▲30.9%
研究開発費	38.9	45	6.1	15.7%
設備投資	51.7	62	10.3	19.9%

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

◆受注高は、前年度には大口案件があったことと、クリーン搬送の落込みにより大幅減。
◆売上高は、受注減により、前年度を下回る見通し。
◆損益は、売上減と、移動制限撤廃による営業活動の活発化や、
開発投資の拡大により、減益の予想。

響いてこそ技術 SINFONIA

セグメント別業績見通し(モーション機器)

（単位：億円）

	22年度 実績	23年度 予想	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	423.0	379	▲44.0	▲10.4%
売上高	386.8	374	▲12.8	▲3.3%
営業利益	25.0	18	▲7.0	▲28.0%

【事業環境】
受注は、半導体関連、及びFA機器向けの需要低迷が当面継続することから、
厳しい状況が続く見通し。
【取り組み】
◆成長市場(半導体、医療、ロボット)に向けた新製品開発
◆ロケット、次世代航空機用案件の事業化に向けた取組推進

響いてこそ技術 SINFONIA

セグメント別業績見通し(パワーエレクトロニクス機器)

（単位：億円）

	22年度 実績	23年度 予想	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	330.9	248	▲82.9	▲25.1%
売上高	209.8	228	18.2	8.7%
営業利益	14.0	17	3.0	21.4%

【事業環境】
受注は、前期に社会インフラで大口案件があったことから前年比で大幅減となるも、振動機器の持ち直し等もあり、底堅く推移。
【取り組み】
◆水素・アンモニア領域をターゲットにした電動力機器の開発
◆ナチュエネの最適化、LPガス発電等の開発加速

響いてこそ技術 SINFONIA

セグメント別業績見通し(クリーン搬送システム)

（単位：億円）

	22年度 実績	23年度 予想	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	285.8	207	▲78.8	▲27.6%
売上高	299.2	194	▲105.2	▲35.2%
営業利益	63.5	29	▲34.5	▲54.3%

【事業環境】
年度前半は需要回復の動きは鈍く、年度後半からの回復に期待。
【取り組み】
◆顧客ニーズに合わせた用途別、工程別LPの開発
◆多層化対応LP/EFEM等の開発
◆工場拡張による生産能力増強

響いてこそ技術 SINFONIA

セグメント別業績見通し(エンジニアリング＆サービス)

（単位：億円）

	22年度 実績	23年度 予想	対前年比	
			増減額	増減率
受注高	211.3	216	4.7	2.2%
売上高	192.2	204	11.8	6.1%
営業利益	13.9	16	2.1	15.1%

【事業環境】
建設工事は官民ともに堅調に推移と予想。
半導体製造工場向け搬送設備工事も再スタートの兆し。
【取り組み】
◆電気設備等、民間設備工事案件獲得に向けた積極的な営業活動
◆半導体工場の設備工事増加に対応するためのリソース投入

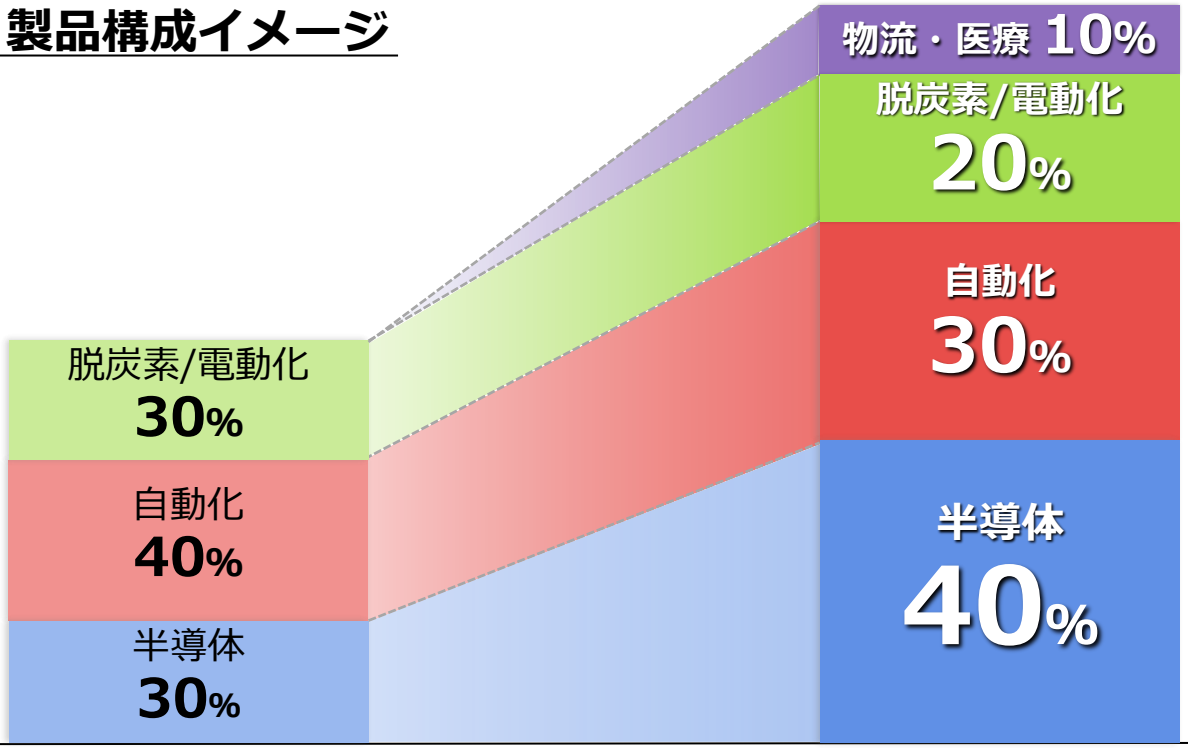
響いてこそ技術 SINFONIA

長期目標および中期計画の進捗

長期目標および中期計画の進捗

新たなステージでの安定した企業成長と、社会のサステナブルな発展への貢献

製品構成イメージ



2024年目標
1100億円

長期目標
2000億円

響いてこそ技術 SINFONIA

長期目標および中期計画の進捗

中期経営計画基本方針

SINFONIA NEW STAGE 2024

技術開発力の強化と新製品の開発・新事業の育成

✓半導体関連分野に注力して成長ドライバーとする

✓物流・再生医療・脱炭素に関連する新製品の開発を行う

技術開発力強化

生産力の強化／グローバル事業拡大

脱炭素・環境負荷低減への取組

長期目標および中期計画の進捗

半導体分野・グローバル拡大

中期計画 → **長期目標**

生産能力増強・拠点整備

月産従来比

伊勢：**1.5**倍

豊橋：**2.4**倍

タイ：**1.8**倍

※トータル生産能力：約2倍

・北米拠点体制強化中

ロードポート

EFEM

拡大戦略製品

300mm ウェーハ
真空搬送ロボット

DDモータ

PLP

グループ売上全体の
40%を目指す

Tape Frame FOUP対応ロードポート＆EFEM

◆中期計画内で生産能力の増強を完了し、現行製品を拡大。
◆将来の半導体製造プロセスを見据えた製品開発を進め、長期的には、
グループ売上全体の40%を目指す。

響いてこそ技術 SINFONIA

長期目標および中期計画の進捗

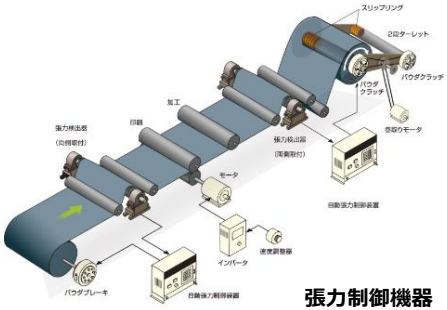
自動化の拡大

中期計画 → **長期目標**

高度化

産業用ロボット機構部品

パーツフィーダ



張力制御機器

データ活用

状態監視

製品のインテリジェンス化で
社会のサステナブルな
発展に貢献

サラウンドビューモニタリングシステム・
AI活用

◆産業用ロボット向けアクチュエータの拡大、高機能電子部品整列機の提案を進めている。
また、AIを活用した産業用車両向けのサラウンドビューモニタリングシステムの拡販。
◆AI・データ活用による製品のインテリジェンス化により、長期的には社会のサステナブルな発展に貢献。

響いてこそ技術 SINFONIA

長期目標および中期計画の進捗

脱炭素／電動化の拡大

中期計画 → **長期目標**

既存拡大製品

エネルギーマネジメント

ワンショットクラッチ

LPガス発電

LNG用
サブマージドモータ

航空機電源車電動化

EV用試験装置

領域拡大製品

航空機電動化

パワエレ技術で
脱炭素に貢献

水素・アンモニア
関連機器

宇宙・衛星機器

◆エネルギーマネジメントの高付加価値化、LNG運搬船の拡大によるサブマージドモータの拡販。
◆航空機電動化や水素・アンモニア関連機器への対応。

響いてこそ技術 SINFONIA

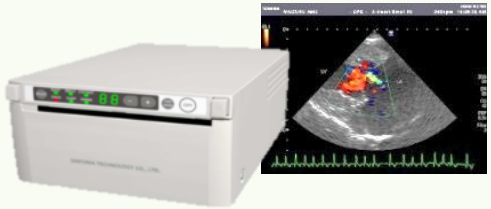
長期目標および中期計画の進捗

医療・物流等への本格参入

医療・再生医療

CellQualia（自動培養装置）

再生医療周辺機器



超音波診断機器用プリンタ

物流

荷役・検品

自律走行ロボット（AMR）

加工・梱包

保管・管理

拠点内搬送

◆再生医療を中心に、培養装置および周辺機器の開発を進めている。
◆物流分野は、半導体生産工程、鉄道ターミナル、空港物流向け製品開発を進め、
将来的に拡大させる。

響いてこそ技術 SINFONIA

長期目標および中期計画の進捗

当社の環境への取組

企業環境ステートメント

ECOing™

エコで行こう！ エコへ移行！

照明設備の最新化

CO_2削減目標

2030年度

30%減（2018年比）

◆企業環境ステートメント「ECOing」（2010年策定）に基づいた活動を継続。
◆製作所にて、太陽光パネルの設置や空調／照明設備の最新化等による使用電力低減、また、環境負荷軽減に向けた緑化活動等、2030年度CO_2削減目標の達成と持続可能な社会の実現を目指す。

響いてこそ技術 SINFONIA

配当について

配当について

株主還元方針

- 配当については継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、株主の皆様の利益と、企業体質の強化、及び今後の事業展開のための設備投資・開発投資に備え、先行きの収益状況を勘案して利益配分を決定。
- 2024年3月期の期末配当については、1株当たり50円の予想。
- 現状上記方針を踏まえて、配当性向は25%以上の方針。さらなる株主への還元について、継続的に検討。

(単位：円)

	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期(予)
1株当配当金	40	30	35	50	75	50

響いてこそ技術 SINFONIA

ご清聴ありがとうございました